



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年8月6日

上場会社名 株式会社うかい 上場取引所 JQ
 コード番号 7621 URL <http://www.ukai.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大工原 正伸 (TEL) 042 (666) 3333
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 潮 一生
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	3,093	△1.3	83	△3.6	51	80.1	△62	—
22年3月期第1四半期	3,136	△9.5	86	△67.5	28	△86.9	9	△91.0

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	△12	62	—	—
22年3月期第1四半期	1	85	1	79

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭
23年3月期第1四半期	14,739	4,312	28.5	853	52	—	—
22年3月期	14,740	4,438	29.3	876	71	—	—

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 4,202百万円 22年3月期 4,316百万円

2. 配当の状況

	年間配当金							
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末	合計
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
22年3月期	—	—	0	00	—	—	10	00
23年3月期	—	—	—	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	0	00	—	—	10	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期（累計）	6,380	3.3	280	95.9	215	261.5	16	—	3	25
通期	12,690	3.1	540	16.2	380	21.6	100	4.2	20	31

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	5,229,940株	22年3月期	5,229,940株
23年3月期1Q	306,329株	22年3月期	306,240株
23年3月期1Q	4,923,658株	22年3月期1Q	5,082,766株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国の経済は、海外経済の回復を背景とした輸出の増加などから一部持ち直しの兆しがみられるものの、雇用や個人所得の不安を背景とした個人消費の低迷など、依然として先行きの不透明な状況で推移いたしました。

外食産業におきましても、生活防衛意識による消費者の節約志向の高まりから企業経営環境は厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、「最も大切な企業価値＝独自の食文化」を見失うことなく、時代の変化に即し、伝統は深化させ、体制は進化させ、新たな魅力を創出し「強い経営体質」「企業価値の向上」を推進してまいりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間における業績は、売上高3,093百万円(前年同期比1.3%減)、営業利益83百万円(前年同期比3.6%減)、経常利益51百万円(前年同期比80.1%増)となりましたが、「資産除去債務に関する会計基準」を適用したことに伴う過年度分の特別損失54百万円の計上により、四半期純損失は62百万円となりました。

セグメントの業績は次の通りであります。

[飲食事業]

和食事業では来客数は減少したものの、客単価の上昇により売上高1,403百万円、前年同期比0.9%減と若干の減少で推移いたしました。高価格帯の洋食事業においては、来客数の低迷に加え、客単価の低下により売上高1,181百万円、前年同期比3.3%減となりました。昨年9月にスタートした通販事業が寄与した結果、飲食事業におきましては、売上高2,616百万円と前年同期比0.8%減となりました。

[文化事業]

文化事業におきまして、箱根ガラスの森では「ヨーロッパ貴族の至宝・レースとレース・グラス展」、河口湖オルゴールの森ではショパン生誕200年特別企画、オルゴールの森コンサート「ピアノの詩人」～ショパンからのメッセージ～と題した特別企画展をそれぞれ4月から開催し集客に努めておりますが、特に河口湖オルゴールの森では周辺の観光施設を含めた国内観光客の低迷を受け、厳しい環境におかれております。

この結果、売上高477百万円、前年同期比4.3%減となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と変動がなく、14,739百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ125百万円増加し、10,426百万円となりました。主な要因は、当第1四半期連結会計期間より「資産除去債務に関する会計基準」を適用したことともない、資産除去債務を151百万円計上したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ126百万円減少し、4,312百万円となりました。主な要因は、四半期純損失62百万円、剰余金の配当による減少49百万円等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ8百万円増加し1,319百万円となりました。当第1四半期連結会計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は308百万円(前年同期は231百万円の獲得)となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純損失4百万円、減価償却費137百万円、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額54百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は74百万円(前年同期は127百万円の支出)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出68百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、支出した資金は225百万円(前年同期は859百万円の収入)となりました。主な要因は、社債の償還、借入の実行・返済により有利子負債が純額で183百万円、配当金の支払い39百万円等の支出があったためであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年5月20日に発表いたしました業績予想に変更はございません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(固定資産の減価償却費の算定方法)

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益は1,960千円減少し、税金等調整前四半期純損失は56,427千円増加しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は150,233千円であります。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,319,935	1,311,474
売掛金	336,353	369,091
商品及び製品	190,846	163,676
原材料及び貯蔵品	246,730	230,870
繰延税金資産	91,152	70,793
その他	188,917	197,745
貸倒引当金	△188	△207
流動資産合計	2,373,747	2,343,443
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,389,877	11,194,710
減価償却累計額	△5,217,778	△5,083,972
建物及び構築物(純額)	6,172,098	6,110,737
土地	2,602,675	2,602,675
建設仮勘定	1,244	13,296
美術骨董品	1,267,471	1,267,710
その他	1,196,108	1,169,159
減価償却累計額	△906,608	△879,768
その他(純額)	289,500	289,391
有形固定資産合計	10,332,990	10,283,811
無形固定資産	47,475	44,800
投資その他の資産		
投資有価証券	21,095	20,776
繰延税金資産	917,535	1,002,645
敷金及び保証金	1,010,317	1,012,672
その他	36,002	31,906
投資その他の資産合計	1,984,950	2,067,999
固定資産合計	12,365,417	12,396,612
資産合計	14,739,164	14,740,056

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	295,401	277,874
1年内償還予定の社債	477,000	477,000
短期借入金	1,050,000	1,060,000
1年内返済予定の長期借入金	1,752,355	1,692,988
未払法人税等	10,806	22,884
賞与引当金	34,179	101,956
その他	801,996	595,779
流動負債合計	4,421,738	4,228,483
固定負債		
社債	1,054,500	1,187,000
長期借入金	4,166,787	4,265,875
退職給付引当金	590,120	575,049
資産除去債務	151,081	—
その他	42,708	45,251
固定負債合計	6,005,198	6,073,176
負債合計	10,426,936	10,301,659
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,291,007	1,291,007
資本剰余金	1,836,412	1,836,412
利益剰余金	1,633,199	1,744,587
自己株式	△563,100	△562,948
株主資本合計	4,197,518	4,309,058
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,887	7,589
評価・換算差額等合計	4,887	7,589
新株予約権	34,691	34,691
少数株主持分	75,130	87,058
純資産合計	4,312,227	4,438,396
負債純資産合計	14,739,164	14,740,056

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	3,136,266	3,093,932
売上原価	1,465,972	1,448,290
売上総利益	1,670,293	1,645,641
販売費及び一般管理費		
役員報酬	63,253	48,063
給料及び手当	528,208	529,094
賞与引当金繰入額	17,457	16,018
退職給付費用	11,415	11,632
賃借料	182,759	193,802
減価償却費	92,531	92,516
その他	687,911	670,921
販売費及び一般管理費合計	1,583,537	1,562,049
営業利益	86,756	83,591
営業外収益		
受取利息	1,260	1,267
受取配当金	215	289
保険配当金	4,204	3,609
投資有価証券受贈益	—	5,026
その他	1,192	731
営業外収益合計	6,873	10,924
営業外費用		
支払利息	45,982	40,111
社債発行費	15,451	—
その他	3,500	2,722
営業外費用合計	64,934	42,834
経常利益	28,695	51,681
特別損失		
固定資産除却損	1,711	1,748
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	54,466
特別損失合計	1,711	56,214
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	26,983	△4,532
法人税、住民税及び事業税	3,920	3,335
法人税等調整額	17,443	66,210
法人税等合計	21,363	69,545
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△74,078
少数株主損失(△)	△3,785	△11,927
四半期純利益又は四半期純損失(△)	9,406	△62,151

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	26,983	△4,532
減価償却費	139,067	137,560
固定資産除却損	1,711	1,748
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	54,466
退職給付引当金の増減額(△は減少)	13,040	15,071
受取利息及び受取配当金	△1,475	△1,556
支払利息	45,982	40,111
売上債権の増減額(△は増加)	13,442	32,737
たな卸資産の増減額(△は増加)	△24,002	△43,030
仕入債務の増減額(△は減少)	11,298	17,526
未払消費税等の増減額(△は減少)	△20,430	30,115
その他	82,603	76,774
小計	288,220	356,993
利息及び配当金の受取額	226	306
利息の支払額	△41,425	△37,241
法人税等の支払額	△15,080	△11,961
営業活動によるキャッシュ・フロー	231,940	308,097
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△76,398	△68,054
その他	△50,860	△6,016
投資活動によるキャッシュ・フロー	△127,258	△74,070
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	400,000	—
短期借入金の返済による支出	△300,000	△10,000
長期借入れによる収入	550,000	400,000
長期借入金の返済による支出	△380,838	△439,721
社債の発行による収入	684,548	—
社債の償還による支出	△62,500	△132,500
配当金の支払額	△28,518	△39,541
その他	△2,752	△3,802
財務活動によるキャッシュ・フロー	859,939	△225,565
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	964,621	8,461
現金及び現金同等物の期首残高	1,526,553	1,311,474
現金及び現金同等物の四半期末残高	* 2,491,174	* 1,319,935

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社グループは、本社に提供するサービス別の事業部を置き、各事業部は、提供するサービスについての包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、事業部を基礎としたサービス別のセグメントから構成されており、「飲食事業」及び「文化事業」の2つを報告セグメントとしております。なお、「飲食事業」は和食事業、洋食事業及び通販事業の3つの事業セグメントを集約しております。

「飲食事業」は、和食料理及び洋食料理のディナーレストランの経営ならびにお土産品の通信販売をしております。「文化事業」は、美術館の運営として美術工芸品等の展示、商品販売及びレストラン等の営業を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	飲食事業	文化事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,616,902	477,030	3,093,932	—	3,093,932
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	633	633	△633	—
計	2,616,902	477,664	3,094,566	△633	3,093,932
セグメント利益又は損失(△)	289,650	△1,413	288,237	△204,645	83,591

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△204,645千円には、連結消去に伴う調整額893千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△205,538千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。